

『摂食・嚥下 院内学習会』

が開催されました！

No.13 News Letterでは、融合研究臨床応用推進センター第4回講演会といたしまして、2015年7月21日（火曜日）に行われました『摂食・嚥下 院内学習会』についてご報告します。

「そしゃく・嚥下」に関する取り組みは、様々な機関、学会等で行われています。本学におきましても、CACRの学内マッチングによりスタートした*「摂食・嚥下プロジェクト」を始め、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、各診療科、看護部、リハビリテーション部、栄養管理部等々において、其々の立場から取り組んでおられます。

今回の学習会は、耳鼻咽喉科・頭頸部外科により行われている嚥下評価の取り組みを中心に、同取り組みについてのお話を増山教授より、生命環境学部 地域食物科学科 谷本教授より「食品の物性値、とろみ」について、歯科口腔外科 上木教授より「そしゃく」についてのお話を伺いました。

また今回は介護食、水分補給ゼリーなどを作られている2つの企業様にも講演にご参加いただき、サンプルの試食会も並行して行われました。

大変多くの、患者さんの摂食に関わる方、興味をお持ちの方にお集まりいただき、質疑応答に加え、閉会後も質問をされる方がいらっしやったりと、情報共有の始まりの場としていただけたのではないかと考えております。ご協力、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。第2回を計画中です。

*「摂食・嚥下プロジェクト」

2013年9月学内マッチングからスタート。生命環境学部、栄養管理部、耳鼻咽喉科STで「とろみ剤」を中心に嚥下評価についてミーティングを重ね、耳鼻咽喉科・頭頸部外科 増山教授のお言葉より「山梨大学レシピ（そしゃく・嚥下困難者用患者状態病院食基準）」を軸に進行中。今後、工学部参加。



講演

生命環境学部
地域食物科学科
谷本守正教授
『物性値について』



講演

耳鼻咽喉科
・頭頸部外科
増山敬祐教授
『当院での取り組み
について』



講演

歯科口腔外科
上木耕一郎教授
『歯科領域そしゃく
について』



企業

講演と試食
『介護食市場の現状』
『ペクチンを用いた
水分補給ゼリー』



最後に
吉崎センター長
より総評

